

1. 件名：秘密保持契約に基づく情報管理計画書に係る各社共通の面談（その2）
2. 日時：令和3年11月11日（木）17：05～17：25
3. 場所：原子力規制庁8階会議室
4. 出席者：
原子力規制庁 技術基盤グループ 技術基盤課 鈴木（健）課長補佐、飯田係員

（以下、テレビ会議システムによる出席）

北陸電力株式会社	原子力部	原子力施設管理チーム	課長	ほか2名
東北電力株式会社	原子力部	原子力設備	課長	ほか2名
中部電力株式会社	原子力部	設備設計グループ	課長	ほか2名
四国電力株式会社	原子力部	核物質防護・工事グループリーダー		ほか2名

5. 要旨：
○原子力規制庁から、秘密保持契約に基づく情報管理計画書について、以下を連絡した。
 - ・秘密文書管理要領等の原子力規制庁における秘文書／機密性3情報に係る措置を参照し、同等の管理がなされるよう情報管理計画書の内容を見直すこと。
 - ・情報の漏えいに限らず、一部の社で発生した誤廃棄等のインシデント発生時の対応について必要な措置が講じられることを明示すること。
 - ・社内全体の情報管理体制、規定、教育等との関係を明らかにすること。
 - ・特定重大事故等対処施設の審査状況も踏まえ、真に必要な部数を再考し、利用の予定がないものは契約の終了や提供中の部数を減らし返却するなどの方針を明らかにすること。
 - ・情報管理計画書については、個人情報を除き公開する。また、計画書の承認に向けては、計画書で引用する社内マニュアル（情報管理の具体的な措置が記載され公開ができないもの）についても必要に応じて参照する。
 - ・これらを検討し、情報管理計画書の修正案の準備ができしだい個別各社の面談を行う。

○各事業者から、準備ができ次第、個別各社の面談の調整をする旨の回答があった。

6. 配付資料：
 - 資料1 原子力規制委員会秘密文書管理要領
 - 資料2 原子力規制委員会文書管理規則
(<https://www.nsr.go.jp/data/000323004.pdf>)
 - 資料3 原子力規制委員会情報セキュリティポリシー
(<https://www.nsr.go.jp/data/000129977.pdf>)
 - 資料4 中国電力株式会社における非公開の審査ガイドの誤廃棄の経緯等（令和3年度第28回原子力規制委員会（令和3年9月1日）資料2）
(<https://www.nsr.go.jp/data/000363538.pdf>)